

東芝テックOB会だより

第16号 2009年7月10日

第15回東芝テックOB会総会開催のご案内

今年の総会は平成7年にOB会が発足してから丁度15年目（25会から通算すると45年目）の記念すべき節目を迎えます。ぜひ会員各位の積極的なご参加を願っています。特に静岡地区在住の会員の皆様には、お仲間を声掛け一緒に参加されますよう期待しています。

開催日 平成21年10月23日（金）

場 所 東芝テック三島事業所内体育館

時 間

《特別行事》

・第3回創作展開催

・15周年特別福引大会開催

・会員手づくり農産物の販売

“東芝テックOB会駿東支部” 設立総会開催

《お久しぶり・再会を喜ぶ》

薫風かおる5月20日、楽しく、和やかに駿東支部総会が開催されました。

駿東支部は駿河国の東部地域の地名をもとに裾野市、御殿場市、小山町、長泉町、清水町に在住の方々に構成されています。富士山をはじめ愛鷹山や柿田川など日本でも屈指の豊かな自然を持ち、緑と水に恵まれ、そして交通の要衝である国道一号線、東海道新幹線も通る大変便利で住みよい環境にあります。

そのせいかどうか駿東支部の会員には三島、大仁、秦野各工場、本社営業、東芝ライテック他関係会社の殆どの出身者が登録されています。

設立総会は三島事業所内第一研修室で午後一時から開催されましたが、参加者は24名で一時間も前から集まり始めて久しぶりの再会を喜び合っていました。

開会の冒頭、東支部長から支部設立に至る経過報告がありましたが、OBの一人一人に声を掛けていく中で、新しくOB会に加入した会員が18名にも上ったことは大変うれしいことで地域に根ざしたOB会活動の意義が再認識されたと述べられました。

また、来賓として出席した杉之内OB会会長は「OBの皆さんが定年退職した後も東芝テックに愛着を持っていることは大変に嬉しいことであるがOB会活動への参加が少なくなって来ている。OB会の活動を地域拠



点ごとに広げることで、OB相互の交流の輪を広げ、会社との絆も再確認して欲しい」と支部設立の目的・意義が話されました。

その後、支部としての年間行事計画が提案、承認され総会は終了しました。

《製造ラインは何処へ》

工場見学は最初に池谷三島事業所長から現在置かれている厳しい会社概況の説明を受けた後、二班に分かれてインクヘッドのクリーンルームやトナー製造ライン、MFPの製品評価試験作業を見て廻りました。



参加者は製造ラインの全く無い会社の変わりようにびっくりし、また最先端のヘッド製造や、複合機の膨大な評価作業に驚いていました。

自分達が仕事した十年前、十五年前の組立てラインや工作機械は跡形もなくなっていることに噂では聞いていても自分の眼で見なければ信じられなかったでしょう、技術の進歩と時代の変化に納得されたのでしょうか。

《地域で多彩に活動するOB会員》

懇親会では思い思いに近況報告がされましたがその内容は実に多彩で幅広いものでした。私はまだ働いていますという人、趣味で吊るし雛をつくっていますという話や地域の花の会で県立がんセンターへ通じる道路に咲く花は私が手入れしていますよとか、少年野球の世話を二十六年間も続け教え子にはプロ野球選手もいます、シルバーで造園の手伝いをし各家を廻っています、柿田川公園でのボランティア活動、民生委員を何年もするなど、また趣味での野菜作りやゴルフ三昧の人まで話は留まる所を知らず、和やかな内にお開きの時間を迎えました。

仕事の都合や、体調が悪くて今回出席できなかった方にも次回には是非とも出席いただき、もっと大勢でもっと楽しく有意義な駿東支部となることを祈念して三本締めで閉会しました。ご出席のみなさん有難うございました。



《駿東支部幹事は次の方々です》ご苦労様でした。

支部長：東 高司

幹事：勝又信光、野際 誠、大嶋盛次、米田雅彦、石井 進、長橋 巖

東芝テックOB会三島支部総会 ～設立2年目を迎えて～

東芝テックOB会三島支部総会は、5月25日PM3：00から三島事業所303会議室において、会員45名参加のもと、大熊幹事の司会で開催されました。

《支部総会》

～藤田支部長挨拶～

昨年設立されたOB会三島支部も1年経過しました。活動計画は会員のご協力により予定どおり実施できました。昨年22名、今年8名（H21.5.25現在）の方が新会員となりトータル113名となりました。しかしながらOB対象者からすれば10%弱に過ぎません。そこで6～7月を会員拡大月間として展開していきますのでご協力をお願いします。

本年総会の特徴は“健康づくり・歩き方の基本”をテーマに講演会を開催します。



～杉の内OB会会長挨拶（来賓）～

昨年三島支部が設立されました。本年5月、駿東支部が設立され活動が開始されました。活動の原点は継続することです。

OB会の意義を高め、今後伊豆の国、函南などの支部を早急に設立し、全国的にOB会活動を活発に展開していきたい。



～池谷三島事業所長挨拶（来賓）～

常日頃のOB会活動に敬意を表します。

会社のおかれている今の状況は誠に厳しく大変ではありますが、この苦難を乗り越えていかねばなりません。OBの皆さんの知恵、アドバイスなどご協力をお願いしたい。



半澤幹事より

20年度活動報告・会計報告がされ承認されました。21年度の活動計画（案）が提案され全員一致で了承されました。

真野会員より

会計監査報告がなされ全員一致で承認されました。

新幹事紹介

広瀬正明、小池千秋の2名が幹事に選任されました。

《講演会》（講師—静岡県総合健康センターの竹内 亮先生他2名）

健康づくりの基本は“足腰を強くすることの大切さ”の理論の後、実技が展開されました。

コアストレッチウォーキングなど聞きなれない言葉、歩き方にしても今まではただ単に歩けばいい、姿勢もどうでもよかったなど、これらが今までの現状だったのです。

実技では、先生の指導の基に老体に鞭打って？取組みました。普段使っていない筋肉を刺激したためか、5～6分すると“じんわり”汗が吹き出てきました。

一人一人が真剣に取り組んでいる、こんな姿・顔を見たのは今までであったらうか、すがすがしい光景でした。

終わってから複数人の感想は、“この実技は非常に役立つ、明日から早速実行する”“歩き方がいかに大切か理解できた”“この年にして若い時のような新鮮さを味わうことができた”“この企画は良かったと思う”など多くの会員が感銘を受けるなど反響が大きかった講演会でした。



（講師の方々）



《懇親会》

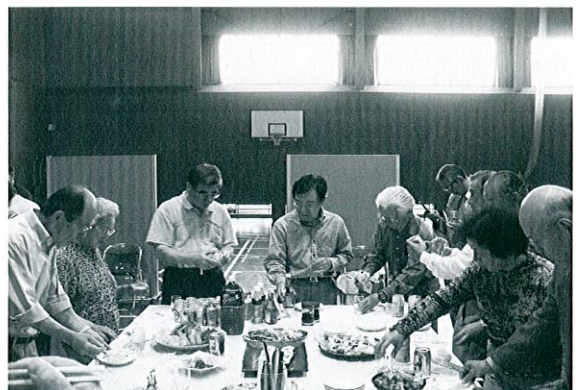


高橋保吉会員の挨拶に始まり、人生で大切なことは健康であり、友である、それからそれなりのお金も必要です。人生を楽しみ、謳歌して行こう、OB会はいいと思うというお話しでした。

栗本健次会員による乾杯のご発声により宴が始まりました。

懐かしい顔・顔……、酒を酌み交わしながら勤務していた当時の思い出に花が咲き、予定時間より20分もオーバーするなど時間が経つのも忘れるほどすばらしい一日を過ごすことができました。

OB会をさらに活発化し、多くの人と懐かしかった職場生活・人生を語り合う場を提供し、絆を強くしていくことが、「OB会の使命である」とつくづく痛感させられました。





会員の広場

第二の人生を楽しむ

～浦嶋 章さん～



「東芝テックOB会だより」に掲載された久保光生さんの闘病記を拝読していて、かつて私自身も長い間腰痛に悩みながら会社生活を送っていましたが、とうとう定年退職1年前までの確な対応が出来ず悩んでいました。

しかし定年退職後の将来について、どのように過ごすべきか真剣に考えると、この悩みの解決なくして、第二の人生を健康で謳歌することは出来ないと考え、腰部脊柱管狭窄症の手術に全てをかける以外方法はないと考えて決断いたしました。

おかげさまで手術は成功し、安堵の気持ちで定年退職を迎えることが出来ました。

会社生活から、家庭中心の生活に入ってみると、自分の自由時間が大幅に増えた今、これを有効活用するための生きがいを実験に考えることが必須であると思いました。慣れない年金生活を快適に過ごすためには病気に金をかける場面を極力少なくして、多少金をかけても健康維持を楽しみながらやる方法は何かと考えました。

当然ながら誰もが考えるウォーキング、トレッキング、家庭菜園等々が頭に浮かんできますが、如何にも普遍的で個人として楽しむには良いかもしれないが、人と人の触れ合いに乏しく今一つ納得出来兼ねていました。

長い目で見て、ある程度計画性があるって、楽しめて、発展性がある方法として思いついたのが、仏様には失礼ですが、信仰もそれ程厚くないのに、お遍路(巡礼)が最適ではないかと考えました。

由緒あるお寺をお参りすることで歴史と文化と遺産を訪ねながら勉強できると考えました。

四国八十八ヶ寺では行程1,400kmを歩き遍路で妻と訪ねるには、いろいろ問題があって、まずはツアーを選択しました。

文献によると、四国遍路には空海の足跡を偲ぶという意味のほかに、再生という意味も込められています。すなわち四国(死国に通じる)の地で一度死んで再び現実世界に甦る旅なのですとあります。第二の人生を送るには、まさにぴったりであると思いました。

仏教に特別造詣を持っているわけでもなく、また信仰に厚いわけでもなかったのですが、遍路姿(死に装束である白装束、輪袈裟、同行二人の袋、金剛杖、数珠を携行する)でお遍路をすると、それなりに身が引き締まるし、参拝も世俗を離れて般若心経を唱えると心の安らぎを覚えるから不思議です。

おかげさまで平成12年春からお遍路を始めて、四国八十八ヶ寺、西国三十三ヶ寺、坂東三十三ヶ寺、秩父三十四ヶ寺、四国別路二十ヶ寺、修善寺八十八ヶ所を進めてきました。現在では全国に霊場が開かれています。本年は会津三十三ヶ寺を巡拝したいと思っています。

空海に由来する寺は多いですが、如来、菩薩、明王等に仏様の世界も階級が存在し、悟りの進捗で決まるとのことに、この世界も大変厳しいと思いました。

神社仏閣の数は万の桁ほどありますので、それぞれの寺の由緒ある歴史、遺産を知り、仏像等々に触れることを通して、今の健康を維持していく努力、感謝の心、末永くお付き合いさせていただく願いを込めて一ヶ寺でも多く巡拝します。

この目標に叶うように、日頃からウォーキング、トレッキングに精を出しながら、野菜中心の食生活にすべく家庭菜園で鍬を振るい筋肉の衰えを抑えればと、晴耕雨読の毎日を送って、第二の人生を楽しむのが最良の道であると思っています。

起業家紹介

☆ No.5 ☆ IT化を追風にして不動産業 「Amstec」に活路を開く

土屋 秀行氏



「100年に一度の大不況」は麻生首相が国会答弁でしばしば口にする言葉ですが、一方2月から3月にかけて景気は底打ちし6月以降好転の兆しと楽観的な政府関係の報道がなされています。

しかし日本を代表する企業でさえ前年度決算では信じられない程の莫大な赤字を計上、今年度中の黒字浮上に関する期待的観測に於いても好感できるものは少ないようです。

規模の大小を問わず経営は極めて厳しい状況にある事は言うまでもありませんが、公的資金の導入など景気浮揚策の恩恵を直接受けることができる大企業に比べ起業・経営者の皆様は生き残りをかけ自力による戦いに身を曝さなくてはなりません。

今回ご紹介する土屋秀行さんもこの不況の波をまともに食らって最悪の状態に耐えて頑張っている一人です。現役時代はTEC生まれの海外向けファクシミリvocofax（東芝から移管されたFAXではない）が立ち上がる時に入社、以来10年間、ドイツ4年間の駐在を含めてファクシミリ部門の発展を支えて来ました。

4年間の海外勤務を終えるのを契機に日本的会社風土が肌に合わないと感じ「組織より一匹オオカミの魅力」が起業への動機となり退職独立することになりました。

まず手がけたビジネスは結婚情報サービスです。静岡県東部を主に300組を越えるお見合いするもビジネスとして成立せず挫折。

その後、学習塾や個人企業のホームページ立ち上げなどPCシステムのサポートで生計をたて家族を支えて来ました。その間合格率15%の宅地建物取扱主任者という国家資格に挑戦、4年前に合格し現在の不動産業Amstec有限会社を東伊豆の伊東市に設立しました。当時、不動産業もIT化をキーワードに淘汰されている真っ最中だったので、「初心者でもITの力をもってすれば勝てる！」と会社設立に踏み切りました。

経験が無いにも拘わらず不動産売買の契約行為や登記をアレンジする事に難しさ怖さを覚えました但同时にやりがいを感じ今では楽しい思い出となりました。

取扱う物件の多くは「別荘系」です。個人の余裕資金・余裕の消費マインドから買われる物件ですから株価等の下落に完全に連動し昨年9月以降最悪の状態に陥っています。



兎に角、当面この不況に耐えて生き残る事が最大の目標だという事ですが、色々なビジネス、様々な苦勞を知恵と努力で乗り越えて来た方ですから、必ずやこの不況に耐え、そして次の目標であるビル丸ごと・ホテル丸ごとなど大型物件を取扱うべくビジネス拡大に繋げて頂きたいと衷心より願うものです。

下記ホームページを是非ご覧下さい。お手ごろな価格の別荘も多く出ています。

OB会員の皆様、都会のけん騒を離れ温暖な伊豆にお住まいになる事をご検討頂ければ幸甚に存じます。

Amstecのご支援を切にお願い申し上げます。

ホームページ：<http://www.amstec.co.jp>

e-mail：tsu@amstec.co.jp

(記) 常任幹事 松永秀隆

追) 前回紹介の川上忍さんのメールアドレスを誤って記載しました。お詫びし下記の通り訂正します。

e-mail：snb@themis.ocn.ne.jp

ドキュメントシステム事業本部の近況

東芝テック(株) 専務執行役員 牛山和昭

OBの皆様には、恙無くお過ごしのこととお慶び申し上げます。この場をお借りして最近の事業状況に付きご報告させていただきます。

金融危機に端を発した昨年来の世界経済の大規模な悪化は、ドキュメントシステム事業にも多大な影響を及ぼし、2008年度は各社とも対前年度で20—30%の減収となりました。私どもも2007年の売上高2705億円から2257億円に1994年以来の対前年減収となりました。事業の形態がリース主体でまた設備としての扱いである機器であることから事業状況の回復は、他産業と比べても遅れると見ております。従いまして、今年度の予算自体も前年を更に下回る2050億円で策定し、徹底したコストの低減と構造改革により事業収益の回復と東芝グループ内での価値ある事業と位置付けられることを目指しております。

係る状況下では有りますが、昨年度はフルカラーのラインナップを一新し23枚機から65枚機までの7機種を投入致しました。オフィスセグメントでは業界最強の品揃えとなりました、米欧の調査機関よりカラー機の年間最優秀賞を受ける等特に品質面で高い評価を得ました。

今年度は、この6月より25枚機以上85枚機までの白黒機分野に6機種新モデルの販売を開始し、MPS(マネーエジドプリントサービス)と呼ぶ情報出力機器の最適配置と経費効率の改善のためのソリューション提案と合わせ現在の事業環境に沿った展開に注力し事業規模の確保に努めております。

各地域において従来以上に激しい競争にさらされており、苦戦も強いられては居るものの2008年度中国では9年連続のシェアNo.1を実現、アジアにおけるトップシェアも昨年引き続き達成致しました。

製造面での付加価値の内製化にも更に進んで取り組んでおり、先月には中国にて部品の新工場が完成しております。

緒先輩の皆様が営々築き上げてこられたこの事業と財産を守り更に進化発展させるべく現役関係者一同は粉骨砕身しております。OBの皆様におかれましては、私どもへ引き続きご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

時節がらどうぞお体をくれぐれもご自愛下さい。

第3回創作展作品募集!

～会員の日頃の労作、OB会総会に展示をお願いします～

1. 期 日 2009年10月23日 (金) OB会総会
2. 場 所 OB会総会会場 三島事業所 (伊豆体育館)
3. 対 象 物 絵画・写真・書・盆栽・菊花鉢・オブジェ・彫刻・陶磁器
他 屋内鑑賞美術品等
4. 出 品 申 込 (1)郵便番号 (2)住所 (3)氏名 (フリガナ) (4)出品対象物
(5)点数 (6)大きさ (7)重量
上記7項目をOB会事務局までご連絡下さい
《事務局》 本社総務部業務・安全担当：渡辺、藤岡
TEL：03-6422-7001 / FAX：03-6422-7111
渡辺：e-mail：Hidemasa_Watanabe@toshibatec.co.jp
藤岡：e-mail：Reiko_Fujioka@toshibatec.co.jp
5. 申込締切日 10月2日 (金) 応募が10名以下の場合催行せず
6. 搬 入 先 10月19日 (月) から10月22日 (木) までに三島事業所総務部に配送、又は持込
〒411-8520 静岡県三島市南町6-78 TEL：055-976-7011
7. 搬 出 10月23日 (金) OB会終了後配送依頼、又はお引取り
8. 注 意 事 項 (1) 展示物には「題名」「出品者名」若干の説明文のカード添付
(2) 写真等の「台紙」、置物の「台」等 出品者が準備
(3) 送料 (往復) は出品者負担 往復宅配便利用
(4) 販売希望者は希望価格をいれる
(5) 破損、紛失等のリスクについて会社及びOB会は負担しない

《事務局よりお知らせ》

前回お送りしました「OB会会員名簿」について下記修正願います。(敬称略)

ページ	氏 名	修 正 箇 所
P36	高井 桂三	(所 属) 東芝テックスイス

《訃報》 心からご冥福をお祈り致します

渡辺藤夫様 (2008.9)、土屋幸男様 (2009.4)、蠣崎賢治様 (2009.5)、松木成宏様 (2009.6)、
市川栄洋様 (2009.6)